

# 森 り よ う じ

# 森 が 動 く。



副議長

流山市議会議員

討議資料

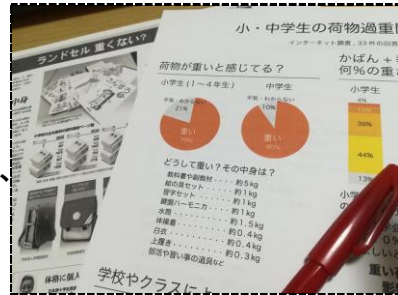
先月市内で殺傷事件が発生しました。このような事態への有効な対策の一つに「防犯カメラ設置」があり、議会でも要望を続けています（年間約5台の設置で現在は市内に70台）。設置に関してはプライバシー問題を指摘する声もありますが、やはり“安全安心に勝るものはない”と思います。

## 平成30年5月号(駅頭用) 森りようじリポート。(91号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

### ■子ども達の笑顔を取り戻す。

過去の会報でもお伝えしてきた『小・中学生の登下校時の過重荷物問題』。保護者の方々の声を受けて近藤議員(流政会)と共に精力的に取り組んできたこともあり、最近はこの問題にいち早く取り組んだ自治体としてテレビや新聞で取り上げられつつあります。学校ごとの対応や取り組み姿勢にはまだバラつきがあるなどの課題もあり、今後は市内全校を対象とした統一ガイドラインの作成を目指して参ります！



### ■次は、“ブラック部活動”に関する問題。

子ども達のみならず保護者や指導する先生達からも悲痛な声が出始めた「学校における過剰な部活動の問題」についても調査を始めました。

部活動に関しては世代毎に思い入れなどの差があるものと思います。一方、教員の多忙化に対して“働き方改革”を求める声や“子ども達の多忙化”などにより“部活動のあるべき姿”も変わってきていると思います。多くの方からご意見や相談をいただいたこともきっかけの一つです。現在は各方面にヒアリング中です。今後は進捗状況などを報告していきたいと思います。

### ■陳情・市民相談に応じています！※一部抜粋

- ①交差点付近の側溝への蓋掛け (SNSでも報告)
- ②公共施設における通信環境の強化など

○1976年6月12日流山生まれ(41歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

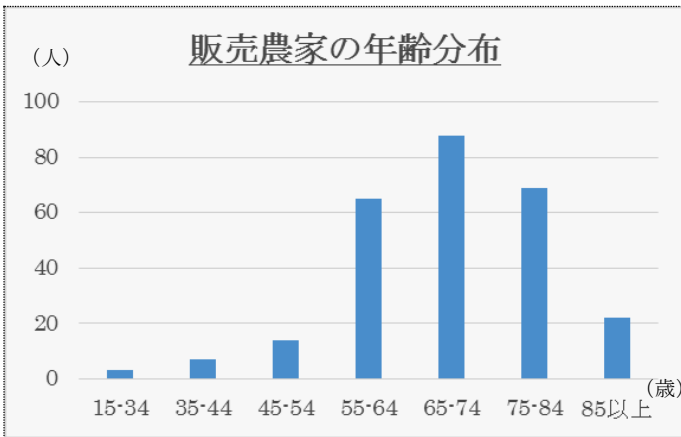
## 森が動く。①

【市民経済委員会の取り組み】

私が所属する市民経済委員会は農政分野も所管しています。昨年は議会初となる農業委員関係者との意見交換会を実施。委員同士で課題の把握や解決策を目指した協議を進めています。

### 数字で見る流山市の農業

首都圏近郊の流山市にも農業を営む方がいます。2015年の調査では268人（販売農家戸数）ですが、その中でも経営計画などを市が認定する認定農業者は近年40人前後で推移しています。また農家の減少とともに言われている農家の高齢化問題ですが、下図で分かるように市内の農家も高齢化が顕著であり、結果として後継者不足の課題にも繋がっています。



今後は農業関係者や行政から農業の魅力や可能性を発信して若い世代の参入を促すと同時に、農業を取り巻く様々な環境変化にも対応できる支援体制の構築も必要だと思います。現在市では直売所のPRや支援、地産地消を目的とした学校給食での地元産米の活用などを実施していますが、更なる施策の展開を求めていく必要があります。そのため当委員会で半年間の協議を重ねた結果、第2回定例会（6月）に議会としての意思を示す決議案を上程する予定です。

### 地産地消の推進に関する決議の骨子（案）

- ① 農業経営の安定化に向けた側面支援の強化
- ② 市内直売所の利用促進に向けたPRの強化
- ③ 農作物の安心安全の確立に向けた関係機関・団体との連携と周辺環境の保全
- ④ 学校給食への市内産米・野菜の積極的な活用

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 森が動く。②

【駅頭の現場から（4月のブログより）】

4年前、ある高校生より一通のFAXを頂きました。当時は国会で選挙年齢を18歳に引き下げる公職選挙法改正に関して議論中であったため、現在は義務教育の中で行われている「主権者教育」が導入されていない時期でもありました。

いただいた質問は学生ならではの純粋な視点と、「物事の本質」を見極めようとする探求心を感じる内容であり、お世辞ではなく「鋭い質問」だと感じました。回答する私としては高校生にも理解できるような「わかりやすく伝える」ために工夫を凝らしたことは、良い思い出となっています。

また私が回答した後に丁寧なお礼文のFAXを頂いたことも思い出深いことの一つです。何故なら市民の方々からの相談は職業柄、日常茶飯事です。誤解を恐れずに言えば、実際に回答後に相談者より何の返答がないケースもあります。そのお礼文のFAX一枚をとってみても、高校生の“真っ直ぐな姿勢”に私の方が様々なことを学ぶ機会でもありました。

それから4年経った先日の駅活動中に「社会人になりました！当時はありがとうございました」と丁寧なご挨拶を頂きました。ひょっとしたら学生時代に会っていたかも知れませんが、ほぼ初対面と言っても過言ではありません。そこには新社会人として緊張感を持った面持ちながらも、眩しい笑顔がありました。と同時に、その顔つきに私の方が“凜”とさせられました。

駅で行き交う皆さんと私の間には、様々なお付き合いのカタチがあります。言葉を交わす人、目を交わす人もいれば、小走りで走り去る人、顔を背ける人…どれをとっても駅活動の中での出会いです。そのような中で「政治を身近にお伝えする」ために続けている駅頭の中で、若人の成長を見ることは楽しみの一つ。今回のエピソードはその代表的な事例となりそうです。

今後は社会の一員として、国や地方の政治を考えると同時に、仲間や子ども達に政治を伝える側にもなってくれたら…とも感じています。

【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp